



# アプリケーションデータをリストアする Cloud Backup

NetApp  
April 12, 2022

# 目次

アプリケーションデータをリストアする.....	1
Oracle データベースをリストアします.....	1
SQL Server データベースをリストアする.....	2

# アプリケーションデータをリストアする

## Oracle データベースをリストアします

Oracle データベースは、同じ SnapCenter サーバホスト、同じ SVM、または同じデータベースホストにのみリストアできます。RAC データベースの場合は、バックアップが作成されたオンプレミスノードにデータがリストアされます。

制御ファイルのリストアを含むフルデータベースのみがサポートされます。アーカイブログが AFS 内にはない場合は、リカバリに必要なアーカイブログが格納されている場所を指定する必要があります。

### • 手順 \*

1. Cloud Manager UI で、\* Backup & Restore \* > \* Applications \* の順にクリックします。
2. [\* フィルター条件 \*] フィールドで、フィルター \* タイプ \* を選択し、ドロップダウンから [\* Oracle\*] を選択します。
3. リストアするデータベースに対応する **View Details** をクリックし、**Restore** をクリックします。
4. [リストアタイプ] ページで、次の操作を実行します。
  - a. 制御ファイルとフルデータベースをリストアする場合は、「\* 制御ファイル」を選択します。
  - b. リストアとリカバリに必要な場合は、「\* データベースの状態を変更」を選択して、データベースの状態をリストアとリカバリ処理の実行に必要な状態に変更します。

データベースの状態は、高いレベルから順に、オープン、マウント済み、開始、シャットダウンがあります。リストア処理を実行するために、データベースの状態を高いレベルから低いレベルに変更する必要がある場合は、このチェックボックスをオンにします。リストア処理を実行するために、データベースの状態を低いレベルから高いレベルに変更する必要がある場合は、このチェックボックスをオンにしなくても自動的に状態が変更されます。

データベースが OPEN 状態で、リストアのためにデータベースが MOUNTED 状態である必要がある場合、データベースの状態はこのチェックボックスをオンにした場合にのみ変更されます。

1. Recovery Scope ページで、次のアクションを実行します。
  - a. リカバリの範囲を指定します。

状況	手順
最後のトランザクションまでリカバリする場合	[* すべてのログ *] を選択します。
特定の System Change Number (SCN) までリカバリする場合	[* Until SCN (System Change Number) ] を選択します。
特定の日時までリカバリする必要がある	[* 日付と時刻 *] を選択します。  データベースホストのタイムゾーンの日付と時刻を指定する必要があります。

状況	手順
リカバリが不要である場合	「* リカバリなし *」を選択します。
外部アーカイブログの場所を指定する	アーカイブログが AFS 内にはない場合は、リカバリに必要なアーカイブログが格納されている場所を指定する必要があります。

- b. リカバリ後にデータベースを開く場合は、チェックボックスを選択します。

RAC セットアップでは、リカバリに使用される RAC インスタンスのみがリカバリ後に開きます。

2. 詳細を確認して、\* リストア \* をクリックします。

## SQL Server データベースをリストアする

SQL Server データベースは、同じホストまたは代替ホストにリストアできます。ログバックアップのリカバリおよび可用性グループの再シードはサポートされていません。

### • 手順 \*

1. Cloud Manager UI で、\* Backup & Restore \* > \* Applications \* の順にクリックします。
2. [\* フィルター条件 \*] フィールドで、フィルター \* タイプ \* を選択し、ドロップダウンから \* SQL \* を選択します。
3. 「\* 詳細表示 \*」をクリックすると、使用可能なすべてのバックアップが表示されます。
4. バックアップを選択し、\* リストア \* をクリックします。
5. データベースファイルのリストア先を選択します。

オプション	説明
バックアップが作成されたホストにデータベースをリストアします	バックアップを作成した SQL Server にデータベースをリストアする場合は、このオプションを選択します。

オプション	説明
データベースを代替ホストにリストアします	<p>バックアップを作成したホストと同じまたは別のホストの別の SQL Server にデータベースをリストアする場合は、このオプションを選択します。</p> <p>ホスト名を選択し、データベース名を指定し（オプション）、インスタンスを選択し、リストアパスを指定します。</p> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div> <p>代替パスに指定するファイル拡張子は、元のデータベースファイルのファイル拡張子と同じにする必要があります。</p> </div> </div> <p>[ リストア範囲 ] ページに [ データベースを別のホストにリストアする * ] オプションが表示されない場合は、ブラウザキャッシュをクリアします。</p>

6. [ \* リストア前オプション \* ] ページで、次のいずれかのオプションを選択します。

- [ リストア時に同じ名前でデータベースを上書きする ] を選択して、同じ名前でデータベースをリストアします。
- データベースをリストアし、既存のレプリケーション設定を保持するには、「 \* SQL データベースのレプリケーション設定を保持 \* 」を選択します。

7. [ リストア後のオプション \* ] ページで、追加のトランザクションログをリストアするためのデータベース状態を指定するには、次のいずれかのオプションを選択します。

- 必要なすべてのバックアップを今すぐリストアする場合は、[ \* Operational 、 but unavailable ] を選択します。

これはデフォルトの動作で、コミットされていないトランザクションをロールバックすることでデータベースを使用可能な状態にします。バックアップを作成するまで追加のトランザクションログはリストアできません。

- コミットされていないトランザクションをロールバックせずにデータベースを非稼働状態のままにするには、[ **Non-operational, but available** ] を選択します。

追加のトランザクションログをリストアできます。データベースはリカバリされるまで使用できません。

- データベースを読み取り専用モードのままにするには、「 \* 読み取り専用モード 」と「 使用可能 \* 」を選択します。

コミットされていないトランザクションはロールバックされますが、ロールバックされた操作がスタンバイファイルに保存されるため、リカバリ前の状態に戻すことができます。

[ ディレクトリを元に戻す ] オプションが有効になっている場合は、さらに多くのトランザクションログがリストアされます。トランザクションログのリストア処理が失敗した場合は、変更をロールバックできます。詳細については、SQL Server のマニュアルを参照してください。

1. 詳細を確認して、 \* リストア \* をクリックします。

## Copyright Information

Copyright © 2022 NetApp, Inc. All rights reserved. Printed in the U.S. No part of this document covered by copyright may be reproduced in any form or by any means-graphic, electronic, or mechanical, including photocopying, recording, taping, or storage in an electronic retrieval system-without prior written permission of the copyright owner.

Software derived from copyrighted NetApp material is subject to the following license and disclaimer:

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY NETAPP "AS IS" AND WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, WHICH ARE HEREBY DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL NETAPP BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

NetApp reserves the right to change any products described herein at any time, and without notice. NetApp assumes no responsibility or liability arising from the use of products described herein, except as expressly agreed to in writing by NetApp. The use or purchase of this product does not convey a license under any patent rights, trademark rights, or any other intellectual property rights of NetApp.

The product described in this manual may be protected by one or more U.S. patents, foreign patents, or pending applications.

RESTRICTED RIGHTS LEGEND: Use, duplication, or disclosure by the government is subject to restrictions as set forth in subparagraph (c)(1)(ii) of the Rights in Technical Data and Computer Software clause at DFARS 252.277-7103 (October 1988) and FAR 52-227-19 (June 1987).

## Trademark Information

NETAPP, the NETAPP logo, and the marks listed at <http://www.netapp.com/TM> are trademarks of NetApp, Inc. Other company and product names may be trademarks of their respective owners.